

仲間ふやし 2,600人達成しよう



あかるいまち 21

ホームページはこちら♪→<http://www.hch.coop/>

組合員活動ニュース No.612

2011年12月26日(月)

広島中央保健生活協同組合

組織部 TEL082-532-1264

FAX082-532-1267

クリスマスも過ぎ、あとは新年を迎える準備ですね。もう一つ、とっても大切なことがあります。仲間ふやし 2,600人を達成するという重要な課題です。12月の仲間ふやしは12/24現在119人と伸び悩んでいます。

まずは1日2ヶタを目標に頑張りましょう！！

1日2ヶタ目指そう

	年間目標	12/24の成果	今月の到達 (12/1~24)	今期の到達 (4/1~12/24)	目標達成率
仲間ふやし(人)	2,600	4	119	1,656	63.6%
出資金ふやし(千円)	160,000	19	7,614	81,450	50.9%

第2回「患者の権利章典」実践交流会(12/14いきいきプラザ)

12月14日、第2回「患者の権利章典」実践交流会を64名(組合員40名、職員24名)の参加で開催しました。近江理事から開会あいさつで、「患者の権利章典」が果たしてきた役割をさらに発展させていくため、「医療福祉生協のいのちをまもり健康をはぐくむ章典」(仮称)の討議をすすめていきましょう。そして、「患者の権利章典」の実践をさらにすすめていきましょう、と呼びかけがありました。

実践交流発表は以下の6演題がありました。

- ・福島生協内科クリニックの各種学習会・教室の取り組み 内科クリニック西田事務長
- ・「患者の権利章典」実践の取り組み 福島生協病院 医療リハビリカーの松井さんと古川さん
- ・利用委員会の役割とその実践～患者・利用者アンケートの集計報告～ 生協さえき病院事務課の松前さん
- ・「患者の権利章典」を学習して 生協歯科ひろしま升岡事務長
- ・見守り・つなぐ・ネットワーク かし、うまくいかない 包括支援センター長の飯星さん
- ・利用委員会の活動に活かす患者の権利章典 コープ五日市診療所 利用委員会委員長の前原理事

その後、6グループに分かれて分散会を行ないました。「患者の権利章典」はまだまだ学習が行き届いているわけではないし浸透しているわけではない。しかし、着実にその役割を果たしてきている。「患者の権利章典」を通じて患者と職員が意見を言える場があり、参加と協働できる機会がある。それはすばらしいこと。組合員は職員の頑張り、職員は組合員の活動や支えを知ることが出来、お互いが励まさせる関係にある。

最後に吉富理事長から、今年は介護分野からの発表や参加があったことが大きな前進、来年は医師の参加を期待したい、と総評をいただきました。



【演題を聞いて感想を共有する参加者】



広島中央保健生活協同組合